

川崎競馬倶楽部

15th ANNIVERSARY

<http://www.kawasakikeiba.com>

since1990

〒212-0002 川崎市幸区小向仲野町15-4 川崎競馬倶楽部

2000年9月①号



Photo by Mr.O

第40回 黒潮盃優勝

8月16日 大井1800

◆アスターバジル◆

父カコイーシーズ
母スーパーハナコ
牡3歳 鹿毛 2003年4月12日
馬主 ● 後藤 繁 樹
調教師 ● 池田 孝 孝
騎手 ● 今野 忠 成
厩務員 ● 水久 保 敏
生産者 ● 熱 川 牧 場

黒潮盃は3歳馬による全国地方交流。その第40回を制したのはアスターバジル。直線と真ん中を5馬身突き放しての完勝ゴールイン。6連勝の強者が運れてきた大物ぶりを発揮。見事一つめのタイトルを手にした。

「今回はじめて思った通りの競馬ができた。自信はあった」と語る池田孝調教師。

「とにかく瞬発力がすごいのでためてためて追い出せばいい脚が使える。本来は直線だけで勝てる馬。コーナーがあまりうまく周れないので直線が長いほうがこの馬にはあっている。今回は騎手がこの馬の能力を最大限に引き出してくれた。」

昨年の2歳取材でも「東京ダービーが狙える馬。来春本格化するよ。」と話していた通り2歳時はソエに悩まされ気性、馬体ともに幼さがなかなか抜けなかったが今年の4月、4戦目あたりから馬が変わってきた。馬体重の数字が示す通り身が入ってきたのもこの時期から。そして5連勝で迎えた黒潮盃、ダービーに間に合わなかった悔しさをぶつけるかのような5馬身差圧勝だった。

☆アスターバジル大器開花☆



普段はひき運動が一人では出来ないくらい気性が荒い。何においても典型的なカコイーシーズの子なのだそう。距離は2000mがベストと語り地元川崎記念制覇も狙いにいく。現在はリフレッシュ放牧中、8月末から牧場で乗り運動もすでに始めていて9月末に帰厩予定。次走は馬の様子を見つつ決めていくとのこと。

「これからまだ、成長する馬。いつまでもファンの心に残る馬になって欲しい。ファンがいて応援してくれるから競馬の仕事をやっている楽しいんだ」と競馬はファンのためにあると語った。

「タイムは平凡だったが、レース内容が良かった。何より反応が素晴らしかった」と今野忠成騎手は絶賛した。

「1コーナー狭くなっても怯むことなく、中団真ん中でゴチャゴチャして理想とはいえない位置取りだったにもかかわらず、しっかり折り合いがついた。ギリギリまでガマンしていたんだが、あまりに手応えが良く、そこから先は余裕で伸びてくれた。ホント使うたびに競馬が上手になるね」と三戦目からとる手綱でアスターバジルの成長を感じ取っていた。

「この先、距離が伸びようと、どんな競馬にも対応できる力がある。いずれ川崎を代表するオープン馬になってほしい。それだけの能力がある馬です。黒潮盃のあと、ここでいったん休ませてくれたことはアスターバジルにとって良い方になるはず。これだけのレースしたあとの負担が解消できると思う。こうしたスタッフの努力が実を結んだ結果です。まだまだいくつも重賞獲りますよ」とアスターバジルの将来性の高さを評価した。

アスターバジルの調教～世話まですべてを担っているのは水久保敏美厩務員。ご存じの方も多いと思うが2003年5月に引退した元ジョッキー。厩務員に転向して初めての重賞挑戦だった。

水久保厩務員はアスターバジルのことを「入厩した当初から期待していた。一つくらいは重賞を取れるのではないかと内心期待していたそう。全身がやわらかく、乗り味がとにかくいいと話すが、新馬戦、2戦目と馬体重が量れていないように、少し気の悪い面がある。そのぶん引き馬は大変だが走っているときは余計なことはしない賢い馬だと評価する。4戦したあとに放牧に出ることになるが、この休養がとにかくプラスだったと話す。休養から戻り、1戦叩いたあとに黒潮盃まで一気の6連勝。水久保厩務員自身は川崎の1500mのレコードを出したエメラルドフラワー賞あたりでこの馬の能力を再認識したようだ。

「まだまだ気性だけで走っている部分があり、これからも伸びる可能性を秘めた馬。距離や展開も特に注文はないが、2000メートルくらいがベスト」再び休養に出てしまった愛馬のことを話す目は、これから先、まだまだたくさん待っている大レースへ向けての期待でいっぱいに見えた。



森下博ジョッキー 250 勝達成



「我この道を行く。苦勞なくしてなんの道かな」—これはお世話になった人からもらった言葉。とても大切にしているんだ。「苦勞しなければ人間は報われない。がんばれ」と。職人はこうでなければならぬと改めて思う。森下騎手はそう言った。

8月13日大井競馬第8Rムーンプライドに騎乗し2500回目の勝利を手にした森下博騎手。デビューから20,021戦目のことだった。

埼玉県の農家の六男坊に生まれた森下騎手。中学校の先生がタイヘイ牧場の親戚という縁で騎手の道を志し、井上有蔵という師匠に出会った。「ステッキ一本で食えるようにしてやる」といって一丁前になるまでたくさんのチャンスを与えてくれたと、井上師亡き後は兄デシの故・佐々木国広師そして現在は長谷川茂厩舎に所属し井上一門の結束の堅さを実感しているという。

初騎乗初勝利を飾ったのは昭和48年11月7日クインミツルでのこと。「行ったらきり余裕で逃げ切ったら、カッコつけてないで最後までちゃんと追え、と叱られた」と笑った。

初重賞制覇は昭和50年9月22日のキョフジ記念。シャンタンに騎乗し、3、4番手から早めに仕掛けて4コーナーでは先頭に立った。最後はアタマ差くらいのきわどい勝利。「この時も仕掛けが早いと師匠からは叱られた(笑)」。

森下騎手といえばエスプリシリーズとのコンビで川崎記念制覇など席巻したことが記憶に新しいが、「エスプリシリーズという馬は今まで乗った中で最強の馬。ゲートにやや課題はあったが、乗り心地がとにかくいい。反応が良い。こっちの思うように動いてくれるんだ。種牡馬になったからにはこの馬の子供にはぜひ跨ってみたいね。これも夢の一つ」。

夢といえば、中学二年生の時に騎手になることを決意したのは初めて連れてもらった東京競馬場だった。「いつかここで」と誓った。今春の新設GⅠヴィクトリアマイルでは思いがけなく受けた騎乗依頼。「行く馬がいなかったで逃げるかたちになったが、とにかく気分が良かった。結果は残念だったけど。いつかココの大舞台で乗りたいという中学生の時の夢が叶った。次は…」



Photo by YANAGIHARA.P

「2500勝も達成できた。あとは一つでも多く、少しでも長く乗っていききたい。ひとつひとつ、一生懸命にね」

・*...♡藤江涉騎手 結婚♡*...



8月9日に2歳年下の亜紀さんと入籍した藤江騎手。

奥様の仕事の都合で新婚生活は10月からになるがとても嬉しそうな笑顔。それもそのはず、宇都宮所属の頃からのお付き合いで、川崎に移籍してから1年以上の遠距離を実らせての結婚なのだ。Wオメデタで3月には待望のベビーも生まれる。「いっそうがんばります」と一言の中にも愛があふれている。お幸せに。

★ JBC 特別メニューが始まります★

ダートの祭典 JBC まで 50 日余となりました。
川崎競馬場では舌でも JBC を堪能できるよう川崎競馬場内の食堂や売店に、遊び心満載の JBC 特別メニューが登場！
いずれも、9 月 7 日から JBC 開催日までの期間限定メニューです。



●第2回 JBCメモリアル「ジャージャーメン」 700円 ラーメン坊 (2号館1階)

第2回 JBC 開催地は盛岡競馬場。そのメモリアルメニューとして、盛岡名物「じゃじゃ麺」のルーツともいわれる「ジャージャーメン」を販売します。みそだれ・汁なしの二風変わった一品は、ちょっとやみつきになる味わいです。



●第5回 JBCメモリアル 名古屋名物「きしめん」 大楠庵 (2号館2階)



「きしめん」 600円



「五目冷しきしめん」 700円

第5回 JBC 開催地は名古屋競馬場。そのメモリアルメニューとして、名古屋名物「きしめん」と「五目冷しきしめん」を販売いたします。
麺の上に盛り付けられた、厚焼き玉子やかまぼこに、JBC の文字が刻まれた楽しい一品。もちろん、味も本場名古屋に負けない自信作です。

●「JBCカプチーノ」 300円 エスプレッソ・バー (2号館2階)

挽きたてのエスプレッソに、泡立てたミルクとココアパウダーで、素敵な JBC の文字が浮き上がります。飲むのがもったいなくなるおしゃれな一品です。



※ 写真と異なり、紙コップでの販売となります。

●第1回、第3回、第4回 JBCメモリアル 江戸前「祝・紅白丼」 600円 当たり寿司 (2号館2階)

第1回、第3回、第4回 JBC 開催地は大井競馬場。そのメモリアルメニューとして、川崎競馬場が誇る立ち食い寿司に、JBC 開催を記念した、江戸前「祝・紅白丼」が登場。
まぐろといかをふんだんに使った紅白の丼には、JBC の文字が刻まれた厚焼き玉子。おめでたい気分になって、馬券もゲット！



川崎競馬場に家系の味！ 港屋ラーメン リニューアルオープン！

8月13日に1号館二階のまんぷく横町「港屋ラーメン」が新装オープンした。
オーナーが蒲田の某家系ラーメン店の味に惚れ込んで、足を運ぶこと数十回。レシピのヒントを教えてくれと頼み込み、最後は向こうが根負けして、ようやくその味の秘密を教えてもらうことができたという秘伝継承の味。
ラーメンのベースはしょうゆ・みそ・塩の3種類だが、そこに合わせるスープを「あっさり」と「こってり」2種類から選べる。
麺はこだわりの細麺で堅さもまたお好み次第。
たとえば「しょうゆ あっさり かため」という風にオーダーできる。



一番人気は「あっさりしょうゆ」(500円)。あっさりしたやさしい味わいの中にパンチ力あり。さらりとまるやかな激旨スープで一番人気も納得です。トッピングはチャーシュー、ノリ、なると、もやし、ネギ、メンマ。

二番人気は「こってりミソ」(600円)で、こちらはしっかり旨味凝縮のこってりスープ。とろりとした油がうすらとマクを張り濃厚な味わいだ。トッピングはコーンたっぷり、チャーシュー、なると、もやし、ネギ、メンマ。



サイドメニューやトッピングも豊富で、しょうゆや塩ならチャーハンと、味噌(特にこってり)はライスとの相性がバッチリ。腹ペこの時にはいっしょにオーダーするのがおススメ(^.^)b

●おもなメニュー

- ・ラーメン 500
- ・塩ラーメン 500
- ・味噌ラーメン 600
- ・冷やしザル 600
- ・チャーシュー丼 250
- ・半チャーハン 250
- ・半ライス 100
- ・ライス 200
- ★追加トッピング
- やさい 100
- コーン 100
- バター 100
- キムチ 100

* 川崎競馬 2歳馬特集 ⑤ *

福島幸三郎厩舎

アイノイズミ

牝
父 カリズマティック
母 ロジータ



性格は祖母のメロウマダングに似て気が強い。入厩してきた頃よりいづれか落ち着いてきた。調教は素直。今開催でデビュー予定。

フジキプリンセス

牝
父 タバスコキャット
母 ケイティディド



スピードタイプ。他の馬に並ばれと走る気をなくすようなのでロケットスタートが決まればそのままスピードにまかせていける馬。少し気性的に難しい面もある。

フジキドラゴン

牡
父 サンプレイス
母 マキバシリウス



食欲旺盛でまだ幼い面が残る。走る気がまだ向かないので9月終わり、10月の能力を使ってデビュー予定。

ヤマノイーゼス

牝
父 マヤノトップガン
母 ローレルフィビー



母は中央で新馬勝ち。少し怖がりな面もあるが、背中がやわらかく期待も大きい。大人しく素直な馬。順調ならばデビューも近い。

●そのほか母はメロウマダングの半姉妹というセントルビー(父キンググローリアス 母ウォータータイト)がいる。まだ気性が幼いので使いながら成長を見る。古馬になって期待できる。

* staff room *

● JBC に向けての動きも活発になってきました。ぜひぜひ全制覇したい JBC 特別メニュー。さあて、今開催中に食べ尽くすぞと張り切っております。JBC だけでなく川崎競馬は話題盛りだくさんすぎて毎月1回では載せきれません。てなことで、9月は前半、後半と2回出す予定です。こんなに話題がありすぎて2歳特集が先に進まないとはウレシイ悲鳴ですな。後半号もお楽しみに！

あ



●池田先生と一緒に写っているのは1歳になるウメちゃん。人見知りもせず馬たちとも仲良くおてんばな女の子です。取材中も遊びっぱなし元気いっぱい。私も遊んでもらってウメちゃんに元気をもらいました。それから予定通りビービートルネード、イシノダンシングが帰ってきました。秋に向け始動です。楽しみですね！

楓

●長かった夏もう終わりです。夏場はつい食欲が落ちて元気がなくなりがちですが、暑さに弱い馬はもっとつらかったのではないのでしょうか？でも2歳馬の取材で食欲の話をすると、ほとんどよく食べてくれるという答えが返ってきました。もちろん厩舎を涼しくしたりとか、調教時間を早めたりとか色んな努力があるからでしょう。そして何よりこの厩舎も飼育員がとっても美味しそうなんです。それぞれの厩舎にそれぞれ工夫を凝らしたマル秘のオリジナルレシピがあるようで。見ているだけで私もお腹が減ってきました。

とら

●とある厩舎でダンボールいっぱいニンニクがギッシリつまっているのを発見。もちろん全て馬たちが食べる分です。いつも思うのですが、馬たちのゴハン(麦やフスマやキューブ、青草、刻んだニンジン etc...) 本当にどれもおいしそうなんですよね。そしてそれを馬たちが本当においしそうに食べるんです。馬も人も、やっぱり食べてるときが一番幸せ♪ですね！



梅